

(出来るかぎり短時間になるように努めること。)

なお、監督(コーチを含む)は抗議、指示、選手交代の通告をのぞいて、むやみにベンチを離れてはならない。

- (11) 打順表(登録された選手全員を記入したもの)の提出は、第2試合以降は前の3回終了時まで

## 6 フェンスラインについて

- (1) 危険防止等のためファウルラインの外側に引く補助ライン(ベンチ前等)の呼名をフェンスラインとする。

- (2) フェンスライン周辺のプレイについては、次のとおりとする。

注1 ラインの内側とは、地面に接した体が完全にライン内にあることをいう。

注2 ラインの外側とは、地面に接した体の一部がたとえ少しでもラインに触れるか、ラインの外に出たことをいう。

注3 いずれの場合においても球(ボール)の位置には関係がない。

注4 ベンチ前のラインおよびダッグアウトの前縁は、フェンスラインと同じ扱いとする。

- ① 飛球をライン内で捕球すれば、アウトである。
- ② 飛球をライン外で捕球すれば、ファウルボールである。
- ③ 飛球をライン内で捕球し、その後ラインに触れるかライン外に出た場合は、打者をアウトにし走者には1個の塁を与える。
- ④ 投球がラインの外に出れば、走者に1個の塁を与える。
- ⑤ 送球がラインの外に出れば、走者に2個の塁を与える。
- ⑥ フェアの打球がラインの外に出れば、エンタイトルツーベースとする。

## 7 審判員の派遣について

- (1) **全ての学童部県大会に各支部より審判員2名を派遣する。(B、C級大会は1名)**

注1 派遣は大会第1日目のみとする。但し、第1日目が雨天等で中止順延された場合は順延日程の第1日目とする。

注2 派遣審判員の費用(交通費、宿泊費)は派遣支部負担とする。

注3 派遣審判員の服装は、上は半袖襟付きポロシャツで色はネイビーブルー(濃紺色)とし、下はグレーの審判ズボンとする。なお、アンダーシャツを着用する場合は黒色または濃紺系色とする。

[天候等により、紺および黒色のウインドブレーカーを着用するものとする。]

- 8 この規律ならびに取り決め事項に記載されていない事項については、全日本軟式野球連盟・競技者必携(最新版)諸規定および和歌山県軟式野球連盟学童部・審判部確認事項、指導事項ならびにA級・B級・C級特別規則に従う。

## 附 則 (野球規則)

この規律並びに取り決め事項は、昭和59年6月1日より効力を発する。

昭和62年3月21日一部改正を実施する。

平成3年3月1日一部改正を実施する。

平成6年3月1日一部改正を実施する。

平成9年3月1日一部改正を実施する。

平成19年2月25日一部改正を実施する。

平成21年2月22日一部改正を実施する。

平成25年2月24日一部改正を実施する。

平成28年2月20日一部改正を実施する。

平成28年7月9日一部改正を実施する。

平成29年3月1日一部改正を実施する。

平成31年2月16日一部改正を実施する。

令和2年2月15日一部改正を実施する。

令和4年2月26日一部改正を実施する。

令和6年2月25日一部改正追加を実施する。